

育友会の支えに 応える

学長 佐々木重人

ささき しげと 1955年東京都生まれ。78年専修大学商学部卒業。83年専修大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学。同年専修大学商学部助手。講師、助教授を経て95年に教授。商学部長(2013～16年)。博士(経営学)神戸大学。税理士試験委員(2011～13年度)。日本会計史学会会長(2013～16年)。16年より専修大学学長。専門は会計史。

新緑に包まれた新年度も早1カ月が経ち、新入生も、日々の大学生活に一定のリズムが生まれてきた頃と思われれます。常日頃、ご父母・保護者の皆様には、本学への物心両面でのご助力をいただいておりますことに感謝申し上げます。とりわけ本年度から、あらたに育友会員となられました新入生のご父母・保護者の皆様には、ご子弟・ご子女の本学への入学に際しまして、多方面でご支援くださったことに対し、心よりお礼を申し上げます。

育友会は、専修大学一部学部学生のご父母・保護者の皆様を会員とする組織で、大学での教育や課外活動、各キャンパスでの生活全般に関わる情報を大学と共有することを目的としております。本学に対する多方面に及ぶ育友会からの支援は、私どもにとって大きな励みであり、その厚意に応えなければならないという決意につながっております。特に、自然災害による被災世帯の学生や家計急変が生じてしまった世帯の学生に対する育友会による経済的支援および「留学生を囲む会」などは、大学が行う同様の施策を補うという点で、大変ありがたいサポートとなっております。

育友会は、2018年に創立60周年を迎えられました。その記念式典の席で、育友会から本学に思いがけない贈り物までいただきました。具体的には神田神保町の靖国通りに面した校地に現在建設中の高層新校舎(2019年度中に完成予定)用として、学生ラウンジに配置するテーブルと椅子さらに世界時計が、また生田キャンパス向けには防犯灯やトレーニングマシンが寄贈されることとなりました。本当にありがとうございました。

あらためて、ご父母・保護者の皆様をお願いしたいことがございます。本学は、皆様とのコミュニケーションをより重視していきたいと考えております。育友会が



夏期休暇中に全国67支部(63会場)で開催する「支部懇談会」にぜひお越しください。その場で行われる本学教職員との個人面談を通じてお互いの情報を共有したく存じます。

今、専修大学は、2020年に創立140周年を迎えることを節目に、全教職員が関わるほどの大改革が進行中です。その一環として本年度から文学部ジャーナリズム学科の改組新設および経営学部ビジネスデザイン学科新設が行われ、それに合わせて、「新たな学士課程教育」のバージョンアップが図られました。特に全学部での外国語教育やキャリア教育の強化が大きな特徴となります。また来年度には、神田キャンパスにおいて、国際コミュニケーション学部が新設される予定で、学生全員の外国留学プログラムを前提とした異文化コミュニケーション教育と国際化社会に対応した日本語教育に力点がおかれます。また現在生田キャンパスに配置されている商学部を神田キャンパスへ全面移転する計画です。さらに経済学部の学科再編も予定されており、現代経済学科・生活環境経済学科・国際経済学科の3学科体制が構築されます。本学は、国際色豊かな古書店の街、神田神保町での新しい知の拠点づくりを進めると同時に、緑豊かな生田キャンパスの魅力づくりに努力してまいります。今後とも引き続きよろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。